

| | |
|------|--|
| 学校名 | 伊豆市立中伊豆中学校 |
| 実践概要 | <p>【研究テーマ】自ら学習に向かい 学び合いを通して 力が付く授業づくり</p> <p>【仮説】生徒につけたい力を明確にし、学びたいと思う学習課題の提示、解決の見通しを持つための学習形態を設定していけば、仲間と関わり合う中で伝え合う楽しさや分かる喜びを味わい、知識を関連付けながら深く学ぶことができるだろう。</p> <p>【手立て】</p> <p>「わ・た・しの授業」わ…分かりたいと思う問い た…楽しい授業 し…主役（生徒主体）</p> <p>「分かる」授業づくり ～焦点化・視覚化・共有化～ 新学習指導要領の理解・実施</p> <p>(1) つけたい力の明確化 生徒の思考の流れにそって、明確な授業を構築していく。学力学習調査の分析。授業では「学習課題」「手立て」「まとめ」のカードを活用していく。</p> <p>(2) 学習課題の工夫 問いを生む授業の確立していく。切実感のある課題設定のため、専門家の外部講師・資料を活用し題材構想の工夫につなげていく。</p> <p>(3) 多様な学習形態 意図を持ったペア・グループ活動を行い、学びを伝え合い、広げ、理解を深めるための学習形態をとっていく。</p> <p>「特別の教科 道徳」に向けた体制づくりと指導改善 道徳ファイル・ノートの活用し、毎時間終末の時間に生徒が自己を振り返る時間を確保する。蓄積することで、評価の資料とする。</p> <p>【評価方法】</p> <p>(1) 指導部会等で生徒、授業内容の近況報告を教員同士で行っていく。</p> <p>(2) 公開授業では、生徒を抽出し、どのような力が身についたか、変容があったかを検証し、今後の授業改善に繋げる。</p> <p>【日程】</p> <p>4月 4日 職員研修 研修の方向性と指導の重点</p> <p>6月20日 職員研修 これからの研修について（わ・た・しの授業研究）</p> <p>7月30日 職員研修 地域教材の開発 総合学習のプランづくり（大塚先生）</p> <p>9月12日 職員研修 人事管理訪問について、新学習指導要領の伝達</p> <p>10月10日 管理主事訪問（板書、題材構想の研究）</p> <p>10月17日 職員研修 地域支援課訪問に向けて（指導案検討）</p> <p>11月16日 職員研修 道徳授業 鈴木賢一講師招聘</p> <p>11月21日 地域支援課訪問（中心授業：音楽）</p> <p>1月23日 職員研修 道徳授業 鈴木賢一講師招聘 評価講話</p> <p>5月～2月 （若手研・中堅研）研究授業 外部講師招聘 国語、理科、音楽、保健体育 教材研究</p> |
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域教材の開発や、外部講師導入により教材研究が推進され、生徒のみならず教員にも能動的な研修となった。 ・新学習指導要領の研修を全教員で行い、全教科の求められる学力観を共通理解ができた。横断的なとらえをすることができ、校内の研修体制の土台づくりにつながった。道徳については先進研修、交流授業、授業研究、評価研修で授業改善の素地ができた。 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着のために、生徒の学習状況の正確な把握や見取りを計画的に行う必要がある。学力学習状況調査分析を授業改善に生かしていく。また、家庭との学習連携を密にしていきたい。 ・生徒の良さ、能力を引き出す授業展開を行っていく。必然性のある課題提示、話し合い活動による深め合いができる授業の研究を鍛錬し学力向上につなげたい。 |